

市民のひるば

第三回市民囲碁大会

市長杯に萩二段

第三回南国市民囲碁大会が五月二・三日の両日、後免の南国囲碁クラブで行われました。大会には九十二名が参加、熱戦がくりひろげられました。

▼A組(市長杯) ①萩南海男(岡田町) ②岡崎雅行(岡田町) ③下村隆雄(立田) ④北村清(立田) ⑤益田四郎(後免町) ⑥高橋増治(岡田町)

▼B組(議長杯) ①三谷敏(里改田) ②杉本頼昭(里改田) ③三好武光(ミロク) ④川田一郎(後免町) ⑤筒井富美夫(野市) ⑥岡上暁(スズエ)

▼C組(教育長杯) ①山田健雄(植田) ②溝淵滋(里改田) ③竹村節(後免町) ④鈴江孝夫(稲市) ⑤竹島寅彦(前浜) ⑥遠藤春海(里改田)

「愛の献血」ありがとう

去る一月三十日、長女の病気のため献血に際し、ご尽力くださいました南国市献血推進会長の山本尚一先生、南国市役所、門田製材所、片山精機、吉川鉄工所、松村鉄工所、協和農機、片山部落長の橋田憲一様、各部落の有志のみなさんどもありがとうございました。

病人が危篤状態となり輸血が必要となりましたが、運悪く午後五時過ぎでした。重病の病人を抱えて電話連絡のため病院を上へ下へと走りまわり、やっと連絡がついたのが献血推進会長の山本尚一先生です。ご相談すると、すぐ血液センターに連絡して「必要量は、補給するとの話し合いが済んだので安心して、一生けん命に看護するよ」に、とのことだが、心配しながら待っている私にかえってき

ました。その時の気持は何にもたよえようがなくなった感謝の気持ちでいっぱいでした。生涯忘れられないことだと思えます。

そうして、三十一日の午前0時、血液センターから多量の血液が手術室に運ばれ、やっと手術の段階となりました。手術後も余病を併発し、数日間、鮮血を輸血しました。

南国俳壇

た。七日ぐらいてやと危篤状態を脱して日増しに快方に向かったとき、医師が「奇跡だ。血液がスムーズに間に合ったことが何より幸いであった」といわれました。献血者の皆様方には大変ご迷惑をおかけいたしました。献血が日ごろからいかに大切なことであるかを、いま新たに痛感いたしております。みなさん、どうもありがとうございました。

沢田美鶴(大植) 保健婦

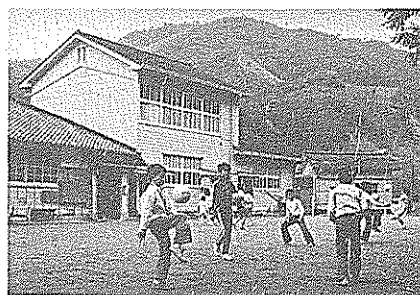
森本美智 (大藤俳句教室)
森本 翔
山下正雄
岡田昌子 (花柳俳句会)
岡田寿子
楠瀬統子
岡崎明香 (茶花の会)
千彩みわ
西村ひとし

南国歌壇

五月幟はためきなりて海音し
馬上の一の弓定まらず
永田 北村ますえ

去る年の永橋は胸の襟深く
春雨も風情さらさらになし
春雨も風情さらさらになし
亀岩 島本 栄

花便り今日も聞けども病める身は
只新聞をじっと見つむる
下野田 竹村虎治



学校めぐり

★奈路小学校★

私たちの学校は、二十七名の児童と四人の先生の、南国市でただ一つの完全複式の学校です。

今年の一年生は、男子がたった一名ですが、二年生の女子三名と元気に勉強しています。全校二十七名は、みんな兄弟のように仲よく知っています。お母さん方もほとんどの人が働きに行っています。運動会や遠足は、お父さんもお母さんもしっかりと見守っています。

子どもの種目と同じくらい出場したり、おどったりします。また、親子遠足や、三月のお別れ遠足は、ほんごうすいはんもとてもたのしい行事です。



ご家庭で話し合ってお答えください。答えは今月号の広報に出ています。

もんだい

災害シーズンに備えて○月○日住民参加で防災訓練が行われます。

①しめきり・六月十五日(火)
②おくり先・千783 南国市大植・南国市役所内 広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ずお歳・職業を書いてください。

■しょうひん・特賞千円■三人
■賞品(記念品)■十人

第五十六回正解者発表

■たえ・①袋でした。
■特賞・二千円■一人
■前田美香子さん(田村)
■岩原茂母代さん(白木谷)
■残念賞・記念品■十人

■残念賞(岡田町流本) 野村正明(物部) 藤村誠一(下野田) 江村よし子(大植) 隅田雄三(後免町) 黒岩翠子(白木谷) 村田雪(植野) 岡林英男(久礼田) 橋詰理佳(植田) 元吉美香(田村)

おめでとーございました。これからもう少し応募ください。ご意見・マンガ・詩などお待ちしております。

公民館活動は

どうあるべきか ③

山崎忠雄(稲吉公民館長)

『居は気を移す』
世の表替をし障子を張り替えて掃除片付けをすませ、着替えをして座敷に座ってみると何か平常の自分と変わったような気がしませんか。「居は気を移す」という言葉が実感としてわくでしょう。自分だけでなく、見る人訪れる人にも同じ感情がわくはずだ。

家だけでなく、町でも村でも環境をよくするということは、そこに住む人、訪れる人、あるいは単に通る人にも快い清々しきを感じさせるでしょう。住む人の慣習やしつけでこういう実体を実現することは不可能でしょうか。

稲吉部落では月一回の清掃奉仕の日が設けられ、一年まえに比べると環境は大変きれいになりました。しかし、ゴミを用水路に捨てる人、所定の時以外にゴミ袋を出して犬猫の食餌散らしに任せている人など、少数ですがいまだに後を絶ちません。どうして自分の周囲のことをもっと考えないのかと時に歯がゆく感じることがあります。

これらは私の感想ですが、環境をよくするためにどんなことを呼びかけ、実現に努めるべきか、私の夢を次に述べてみます。

「お社と道と水路はまの顔」
私のこの呼びかけは、みんなの協力によって次のような慣習は生れないものかと考えている次第です。

(1)清掃奉仕の日の設置実施はまことに結構なことですが、これが月一回のその日だけのものとしなくて、これを動機づけとして、それぞれの家庭が毎日やっている庭掃除の手を一步門の外まで伸ばすこと。せめて門前の道路とへい添いの溝は週一回くらいの清掃をする習慣づけをしてもらいたいと思っています。

(2)水路に野菜や魚の古いものを流しているのをたびたび見かけます。食品のバックや空缶、空びんの投棄も見つけられます。こんなことを止める運動、みんなの認識を深めてもらいたいと思います。各家庭で使っているゴミ袋を完全に活かして頂きたい。これは主婦の義務ではないでしょうか。

(3)道や溝に捨てられているゴミや

空缶空びんなどは見かけた人が拾って処理する。これは、とくに子供のしつけとして普及すると教育的効果も高いと思います。そのために道の辻々にゴミ入れの容器を設置することも必要でしょう。

(4)年一回、農家総出で数日間水路の清掃準備をするいわゆる「田役」の行事があります。今日では、水路は農業用水取入れの効用よりも家庭排水の処理、消防用水の確保など、一般住民共通の効用が重くなってきました。

したがって、期間中に一回くらいは農家以外の人も奉仕するようなことになるれば、環境に対する認識も高まり、部落の融和にも大きい効果をおぼせられると考えます。

(5)もう一つ「花いっぱい運動」の呼びかけをします。家の庭だけでなく、部落内に点在する空地や道路わきの余地のあるところは季節の花でいっぱい飾ろうというアイデアです。何の花でも結構ですが、菊の苗は私が八十種類ほどもっていますので、呼びかけに際してこの運動に参加してください。方はお申出ください。

清潔に清掃された私たちの地区が四季折々の花で一面に飾られた風情を幻にえがいています。

以下次号

校舎が古くて、運動場がせまくソフトボールをするのがガラスをわるので練習はあまりできません。昨年できた、北部少年サッカースクールには一年生を除いて十六名の男子全員が入っていて、毎週日曜北陵中学校で練習していますので、せまい運動場でもサッカーの練習は盛んです。女子も男子にまじってよくやっています。

自然には恵まれていて、きれいな山にかこまれた静かな学校では朝は小鳥の鳴き声がよく聞こえます。学校の竹やぶにはえた竹の子を上級生が堀って給食に使っています。奈路の給食は自まんでできる一つです。今までも月二回はごはんでしたが、今年からは週に二回はごはんが出るようになり、また、たまご、カレーライス、おすしなど色々変ったこん立でほかほか食べられます。みんなごはん給食は大満足です。

学校の畑で生まれたかぶと虫の幼虫を百匹あまりつかまえてかっています。もう間もなくさなぎになります。大きいかぶと虫が生まれるのを今からのしみに待っています。

お友だちが少ないのは、少しさびしいですが、先生も生徒もみんな家族のように助け合い、はげま合せて仲よく勉強しています。

五・六年生一同